

輝く歯モニュメント贈る

旧大郷町立歯科診療所の初代所長中條さん(仙台)

きれいな口の中ばいきんまんが泣いているアンパンマンが笑ってる

大郷小で除幕式 子どもたちのヒーローに大喜び



【黒川支局】旧大郷町立歯科診療所の初代所長、中條幸一さん(70)＝仙台市青葉区＝が子どもたちにきれいな歯の大切さを伝えようと「輝く歯モニュメント」を大郷小(石川敏彦校長、児童数404人)に寄贈した。4日に除幕式があり、子どもたちに披露された。

大郷町立歯科診療所ができる前は町内に歯科診療所が1軒しかなく、午前の予約をとるため夜中に行かなければならないほどだったという。中條さんは「大郷小に設置された輝く歯モニュメント」

983年から10年間町立診療所に勤め、当時はほとんど例がなかった町民総合歯科検診を実施。歯磨きなど予防の大切さを訴えて住民の口腔健康の関心を高め、医療費抑制につなげた。

その後は仙台市内に拠点を移したが、大郷小が昨年度までの2年間に日本学校歯科医会の実践研究校に指定されたことがきっかけで再縁。「口腔ケアの先進地だった大郷を再び盛り上げたい」(中條さん)と私費約60万円を投じてモニュメントを造った。

モニュメントは御影石製の高さ約60センチで、掲揚塔の前に設置された。子どものヒーロー、アンパンマンとばいきんまん、歯ブラシがデザインされており、「いつもきれいな口の中ばいきんまん(悪玉菌)が泣いているアンパンマン(善玉菌)が笑っている未来にはばだけ大郷っ子」とメッセージが刻まれている。

中條さんによると、人間の体は善玉菌と悪玉菌の絶妙なバランスで健康が保たれており、悪玉菌が増えすぎないように上手におやつを食べ、普段から食事の気を付け、歯を磨き規則正しい生活をするとう健康になるという。中條さんは「地域に溶け込んだ歯科医の集大成としてこのモニュメントを贈った。子どもたちが喜んでくれてうれしくてしょうがない」と喜んでいった。

まちづくりカフェ

10日夜 栗原市内

【栗原支局】栗原市市民活動支援センター

「umaire」が10日午後7時(6時半開場)から同センターで開かれる。参加費300円。